

学力向上アクションプラン (2)教科等としての取組

○わかる授業・楽しい授業 の確立のために…

2018年度

国語	<p>○漢字練習と小テスト、また暗唱カードへの取組のように、スモールステップを繰り返すことで基礎基本の定着を目指し、「できる」感覚を体験させ、学習意欲を高める。</p> <p>○各教科における言語活動の基盤となる教科であるということを意識し、実生活に結び付いた言語活動の設定やグループ活動を工夫する。</p>	技術・家庭	<p>○問題解決的な学習過程を題材にし、自ら発言する場面を設け、自分の意見に自信を持たせる工夫をする。また、ICT機器を生徒が使う場面を多く取り入れることで、楽しい授業になるよう心がける。</p> <p>○生活のさまざまな課題を学習プロセスの中に組み込み、自分の生活や将来に活用できるような授業実践を主体的な学びを重視しながら行う。</p>
社会	<p>○授業の中でニュースを話題に挙げることを通して、社会科への興味関心を高める。また、授業内容の「ふりかえりカード」の取組を継続して行う。</p> <p>○復習プリントや問題集を活用し、学習内容の定着を図る。また、ICTの活用を意識した取組に力を入れ、資料活用能力の向上を図る。</p>	外国語	<p>○生徒が興味・関心をもって学習できるような教材を提供し、授業中はもちろん、授業外でも自ら英語を使って活動しようとする姿勢を養う。</p> <p>○教員ができるだけ英語を使用して授業を進めることで、生徒により多くの英語に触れさせる。それにより、実践的なコミュニケーション能力を育成する。</p>
数学	<p>○他の単元や身近な生活との関連性に気をつけ、数学的活動や言語活動を取り入れた授業の展開を心がける。</p> <p>○ICTを用いて授業を行うことにより、生徒の興味関心をさらに引き立てる。</p>	道徳	「豊かな心の作成プラン」に記載
理科	<p>○観察・実験における手順や実験器具の扱いで観察・実験の技能を高める。実技試験を取り入れる。</p> <p>○授業の中に対話・議論を取り入れることで、主体的な学びを促し、課題を解決する能力、思考力を身に付ける。</p>	特活	<p>○生徒の自主的・実践的な活動を通して、コミュニケーション能力を育み、よりよい人間関係を築かせる。</p> <p>○話し合い活動を重視し、相手の考えや思いを尊重し、協力して問題解決にあたらうとする姿勢を身につけさせる。</p>
音楽	<p>○生徒が興味関心をもって主体的に学習できるような魅力的な題材を取り上げ、生涯にわたり音楽を愛好する姿勢を育む。</p> <p>○表現活動では、自他の声や音に耳を傾け、グループ活動を取り入れ、友人とのコミュニケーション能力を育むとともに、学び合いながら実技の定着を図る。</p>	総合	<p>○学習活動に「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の流れを作り、多様な学び方を取り入れる。</p> <p>○校外行事に関連付けた学習の中で、各学年の発達段階に応じた、生徒が主体的、創造的、協働的に取り組める場面を多く設定する。</p>
美術	<p>○生徒一人一人が題材の中で主体的に主題を追求し、工夫しながら制作していけるようにする。</p> <p>○作品の意図や工夫を理解する活動を、互いの表現のよさや個性などを認め合える活動につなげていく。</p>	個別	<p>○個別の教育計画に基づき、授業形態や内容を工夫し、指導の充実を図る。</p> <p>○自立と社会参加を見据え、生活に必要な知識理解やコミュニケーション能力育成についての学習活動を行う。</p>
保体	「体力健康プラン」に記載		